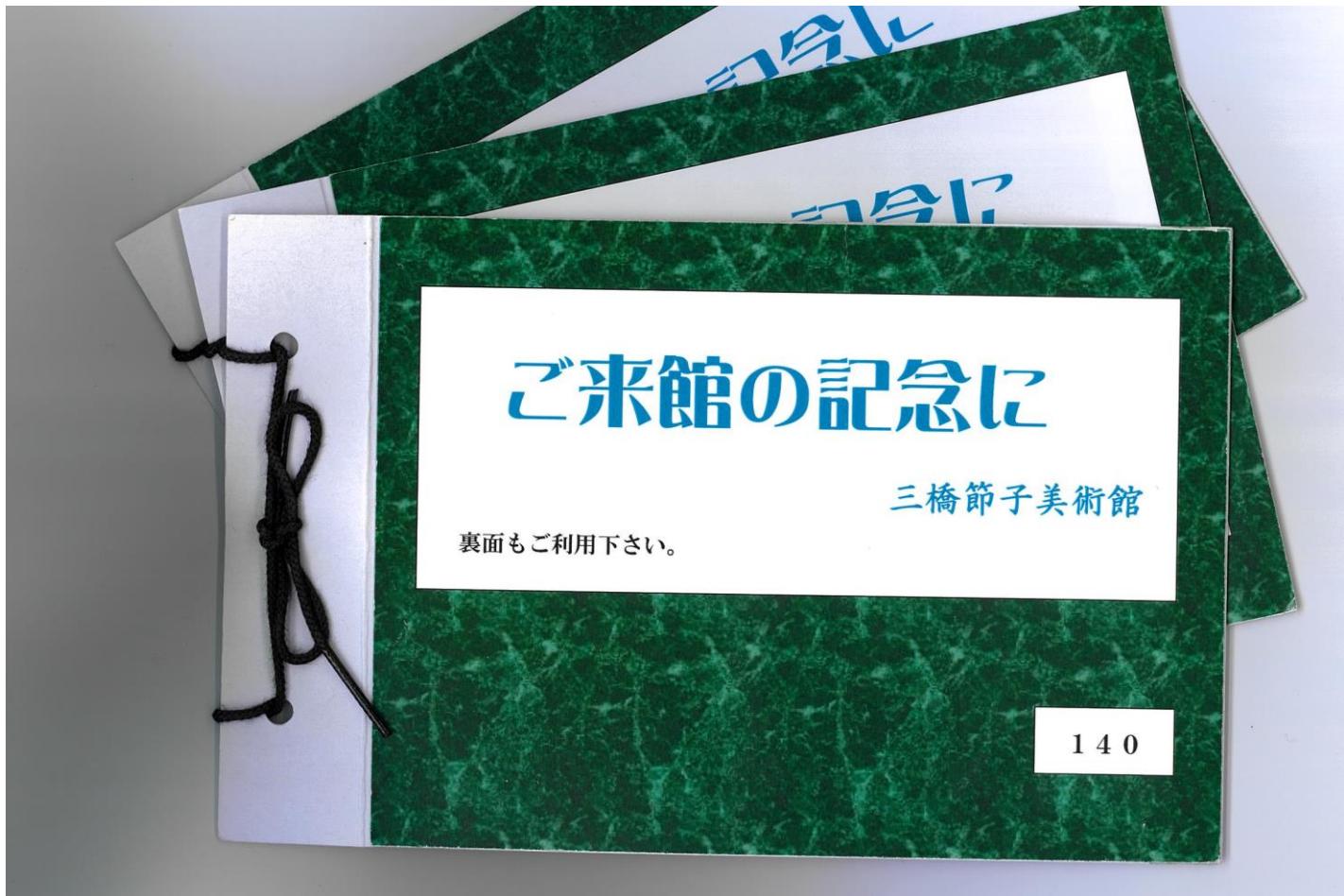


# ご来館の記念にお寄せいただいたご感想

2024年（令和6年）10月からの抜粋



- 「雷の落ちない村」という絵本を図書館で見つけて、とても美しく、温かく、心に響きました。三橋節子さんの絵の愛にあふれたまなざしは心に深く残ります。子ども達、女性、野草…色彩や丁寧さ…本当に心惹かれます。
- 私は現在 48 才 節子さんが亡くなったあとに生まれました。三度目の訪問です。来年亡くなられて 50 年 生前の節子さんを知られる方が少なくなっているのがさみしい限りです。一回目、二回目、三回目と訪れるたびに絵のすばらしさを理解できるようになりました。私には想像できない苦しみ哀しみがありました。この絵がみなさまの目にもっと触れて欲しいと思います。すばらしい絵をありがとうございました。
- 草、鳥、星、人間を含めた自然を見つめる己の視線とその物たちの間に何を心に置くかという事を深く考えられたのでしょう。今のとても心の置き場の乏しい現状には益々忘れてはならないことの様に思います。
- 絵本・画集よりも、実物の作品はずっとクリアで、見る者に迫ってくる感じがありました。額に入った絵本原画、改めて画面構成の素晴らしさがわかりました。キラキラ光る素材を使った作品の質感も、重ね塗りの透明感も、本物ならではでした。

- クリスマスに彼氏と大津をぶらぶらしていて、たまたまたどりついたのがこの美術館でした。ダークな色あいに、ほのかに残る甘さがどの作品にも見受けられ、1時間があつという間に過ぎてしまいました。病気にもめげずに描き続ける精神に感動を覚えました。有難うございました。
- 芸術大学の遠い後輩です。  
自分も絵本の形で作品を作った事があり、同じ学校でメッセージの強い絵本を書いた人がいると、興味を持ってここにきました。  
三橋さんの作品は、その時々、自らの居場所でできるだけのことをしてている。決して根無し草ではない強みがあります。私もそうなりたい。
- 色の落ち着きと配置がとても美しいと感じました。求道者のような精神を持っている方だと思い素晴らしい作品に出会えて幸せに思いました。ありがとうございました。
- 何と素晴らしい作品か。美しく、心温まる主題が表れていて心が穏やかに震えました。こんなに深い心が宿っている作品に久しぶりに出会えました。何が描きたいのか、明確にしているのが心に迫ります。有難うございました。
- 節子さんの生命への優しさに感動し、近江ゆかりの伝説を読み絵を拝見すると一層感動し、特に「花折峠」の絵の野草を描き分けられる織細さ奥深さに驚嘆し感動しました。わずか30代でこれほどのものを残される節子さんの秀れた人間性と芸術性に感嘆しました。有難うございました。
- 「空と湖水」植松三十里箸・「吾木香」を読んで三橋節子さんに会いたくて美術館を尋ねたくなり今日は朝から一人で訪ねました。たったひとりで一つ一つの作品と向き合っていると、本の中に描かれていたシーンや節子さんを偲ぶ御両親や鈴木靖将さんの気持ちがオーバーラップして、より深く画を感じることができたように思っています。一人の女性としてもとても魅力的で素敵な節子さんにお会いしにまた訪れたいと思います。その大きな愛を感じるために…貴女の人生を思えば私の心の哀しみなんてなんだかとても小さなどるにならないことに思いました。節子さんありがとう。
- 大津に住んで30年、車で通りすぎながらいつか来てみたいな~と思い今日は自宅からここを目指して歩いてきました。力強いと思うのにやさしい心のある絵にとてもホッします。長等をびわ湖を地元を節子さんを、もっと知りたくなりました。ありがとうございました。
- いつも1人で来ていたのですが今日は初めて夫ときました。心がすごく弱っている時に三橋さんの作品を見たくなります。母が突然事故死して色々とつらい事が重なっていた時は、絵の中の母子像に涙が出ました。私は息子さんの草麻生さんと同じ年ですが、今は自分が進行がんになり家族を置いて死んでゆく側の目で観賞しています。人の姿にも鳥の姿にも花の姿にも…生と死、愛と別れ胸に迫ってきて切なくなりますが、やはりまた来て良かった。母を失った子として、死にゆく者として、このような作品にいつでも会いに来られるのがありがたいです。いつまでもここにあってほしい美術館です。

- カラスウリ、露店のミドリガメ、中町商店街のアメ細工屋さん、私の子供のころにはいつも見られたものがいつの間にかなくなったのに気付かされます。粉せっけん運動のはじまる直前ごろ、そこから草花の光景の変化をあらためて想います。
- やつとうかがうことができました。昔「湖の伝説」の本を読み、大好きになりました。今も本を持っています。最近テレビで企画展があるのを知り思って来ました。子どもさんが「有名にならなくてもいいから、長く生きてほしかったと話していたのが心に残ります。ほんとうにもっと長く作品を描いていただきたかった。花折峠が好きです。
- 最終日にやっと来館出来て良かったです。  
テレビで息子さんが「有名にならなくてもいいからもっと一緒にいたかった」とおっしゃっていたのが心に残ります。  
節子さんは、命ある者（物）すべてにとても優しい人だと思いました。優しさは、何にも勝ることだと思います。八十路を過ぎて今ある生命を大切に私も優しく精一杯生きたいと思います。有難うございました。
- 悲しくて凄絶な絵を想像していたが、違った。あくまで優しい。入口のスナップと重なった。
- 私が通っている絵画教室の大好きな先生に教えてもらい、三橋先生の美術館に訪れました。今年で高校2年生になりますが、先生の絵はどこかはかなく先生自身の知性があふれている絵だと感じました。素敵なお絵を残してくださりありがとうございました。
- はじめて來ました。  
私は、絵がとても好きで、初めて、左手でかいた絵を見て感動しました。  
右手から、左手にかくのは、とてもむずかしいと思うのに、上手にかけていて、本当にすごいと思いました。どうしたら絵が上手くなるのか、それをもっとくわしくなって、また来ます。  
ありがとうございました。 (小学生)
- 大津で暮らして28年。一度も来館したことがありませんでした。私は地元で子ども二人を育てることが出来ましたが、節子さんはどんなに後髪を引かれて旅立たれたことでしょう。絵からその思いが伝わってくるようです。幽玄の時間をいつくしんでごしたいです。
- 三橋節子という名前を知ったのは一つのことだったろう。  
たぶん他の美術館で観た時だと思う。その人の名を冠した美術館があると知り、足を運んだ。独特的の画風、物語のある数々の作品、そして優しさがいっぱい詰まっている全ての絵に魅了された。  
ものすごい苦難もあったろうに、それを画風には出さず。観る人の心を癒す…僕がどう頑張っても足元にも及ばない素敵なお絵、素敵なお画家だった。  
出会えたことを、本当にうれしく思います。ありがとうございます！！

令和7年10月31日まで